

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	管渠費	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 001		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費用	事業所管課	都市局下水道室下水道整備課			
	項	営業費用	連絡先	(078)934-9623			
	目	管渠費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度	
	事業		根拠法令・要綱等	下水道法、明石市下水道条例			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-6 下水道の整備			委託	○	指定管理	
個別計画	明石市公共下水道事業計画						

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 生活環境の維持と水質保全のため、下水道管渠施設を常に良好な状態で使用できるよう適正な維持管理を行う。

成果指標					
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値	
下水道に起因する道路陥没事故発生件数	下水道管渠の点検、補修、改築を計画的に行うことで構造的安全性を確保し、陥没事故を未然に防止する。	毎年度	件	0	
下水管溢水事故発生件数	下水管の詰りに起因する溢水事故を点検、清掃により未然に防止する。	毎年度	件	0	

事業内容

① 管渠施設等の構造的安全性の確保(蓋の取替)
 日常的な調査・点検により下水道管路施設の安全性を確保する。(人孔蓋取替実績:平成30年度 167枚、令和元年度 122枚、令和2年度 200枚(予定))

② 管渠施設等の機能保全(施設の清掃)
 定期点検の結果や市民からの情報提供を受け、管渠、水路、側溝等の清掃を行い浸水や溢水の防除に努める。(浚渫汚泥処分実績:平成30年度 40t、令和元年度 70t、令和2年度 80t(予定))

③ 下水道台帳の整備
 電子化した下水道台帳システムにより管路情報を一元化し、施設管理を効率的に行っている。また、業者や市民による台帳の閲覧・印刷について、平成31年4月から市ホームページを、また12月から窓口におけるタッチパネルシステムの運用を開始した。(管渠データ更新実績:平成30年度 管渠12km更新、令和元年度 管渠12km更新、令和2年度 管渠12km更新(予定))

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	154,258	94,284	248,542	0	0	143,977	104,565				
01当初予算	187,154	98,670	285,824	0	0	204,854	80,970	正規	8.00	ｱｲﾊﾞｲ	0.00
01決算	161,067	85,280	246,347	0	0	158,177	88,170	再任用	1.00	その他	2.00
02当初予算	213,870	84,710	298,580	0	0	193,980	104,600	任期付	1.00	合計	12.00

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	修繕費	管渠修繕ほか	125,235		修繕費	管渠修繕ほか	171,046
	委託料	台帳システム保守業務委託ほか	18,274		材料費	人孔鉄蓋	20,000
	材料費	人孔鉄蓋	13,823		委託料	台帳システム保守業務委託ほか	16,988
	賃借料	カラーコピー機賃借料ほか	1,048		光熱水費	管渠維持光熱水費	1,601
	光熱水費	管渠維持光熱水費	884		賃借料	カラーコピー機賃借料ほか	1,228
	その他	備用品費ほか	1,803		その他	備用品費ほか	3,007
	合計				161,067	合計	

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-001	事務事業名	管渠費
------	-----------	-------	-----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	下水道に起因する道路陥没事故発生件数	下水道管渠の点検、補修、改築を計画的に行うことで構造的安全性を確保し、陥没事故を未然に防止する。			0	1	0
		毎年度	件	0			
	下水管溢水事故発生件数	下水管の詰りに起因する溢水事故を点検、清掃により未然に防止する。			0	2	0
		毎年度	件	0			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
令和元年度末の管渠延長は約1,137kmとなり、既存ストックの老朽化が進行することが見込まれる。このため事故発生や機能停止を未然に防止し、計画的な点検・調査及び修繕を行うことにより機能確保とライフサイクルコストの低減を図っていく。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	ポンプ場費	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 002				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費用							
	項	営業費用							
	目	ポンプ場費							
	事業								
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	都市局下水道室下水道施設課					
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)934-3425					
個別計画	明石市公共下水道事業計画		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 52 年度			
			根拠法令・要綱等	下水道法、明石市下水道条例、環境基本法、水質汚濁防止法、電気事業法等					
			実施方法	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	市民が快適に生活できるよう、安全かつ迅速に汚水を各浄化センターへ圧送し、一部地域で雨水排除を行う。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
※成果指標の設定はしない					

事業内容	① 汚水圧送量 : 晴天日平均 平成30年度実績量(m ³)【朝霧】7,438【林】4,865【藤江】4,798【谷八木】91【江井島】1,955【西岡】13,916	
	晴天日平均 令和元年度実績量(m ³)【朝霧】7,232【林】4,797【藤江】4,612【谷八木】91【江井島】1,932【西岡】13,657	
	晴天日平均 令和2年度予定量(m ³)【朝霧】7,500【林】5,000【藤江】4,800【谷八木】95【江井島】2,000【西岡】18,000	
	② 雨水排除量 : 年間排除量 平成30年度実績量(m ³)【林】217,712【西岡】181,760【谷八木】8,637	
	年間排除量 令和元年度実績量(m ³)【林】75,548【西岡】59,640【谷八木】7,472 年間排除量 令和2年度予定量(m ³)【林】100,000【西岡】90,000【谷八木】8,000	
③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、受電点検(月一回)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回) 受変電直流自家発点検(年一回)		
④ マニュアル類 : 危機管理マニュアルに沿った大雨対応訓練の実施(年一回)		
⑤ その他 : 【朝霧、林、西岡】開放施設(会議棟)を設け地元へ開放		

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	101,821	0	101,821	0	0	73,959	27,862	正規	0.00	ｱｲﾊﾞｲ	0.00
01当初予算	143,396	0	143,396	0	0	104,226	39,170	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	102,192	0	102,192	0	0	64,481	37,711	任期付	0.00	合計	0.00
02当初予算	128,481	0	128,481	0	0	100,581	27,900				

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	修繕費	ポンプ場施設修繕	55,043		修繕費	ポンプ場施設修繕	66,400
	動力費	ポンプ場施設の動力費	32,876		動力費	ポンプ場施設の動力費	45,434
	委託料	包括運転管理業務委託ほか	12,083		委託料	包括運転管理業務委託ほか	13,320
	光熱水費	ポンプ場施設の光熱水費	1,349		光熱水費	ポンプ場施設の光熱水費	1,945
	備用品費	機械器具消耗品ほか	424		備用品費	機械器具消耗品ほか	520
	その他	通信運搬費ほか	417		その他	通信運搬費ほか	862
	合計				102,192	合計	

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-002	事務事業名	ポンプ場費		
------	-----------	-------	-------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>厳しい財政状況の下、施設の老朽化が進むものの余裕を持った改築更新は難しく、施設の長寿命化を図り、耐用年数を超える使用も必要となる中で、日常の点検やメンテナンス業務委託等により、十分な機能を発揮できる状態に維持していく。</p> <p>市民の快適な暮らしに欠かせない下水道を持続的、安定的に提供するため、今後も維持管理の最適化に取り組んでいく。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	処理場費	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 003		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費用					
	項	営業費用					
	目	処理場費					
	事業						
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	下水道法、明石市下水道条例、環境基本法、水質汚濁防止法、電気事業法等			
	5-6 下水道の整備						
個別計画	明石市公共下水道事業計画		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
				委託	○	指定管理	
自治/法定		自治事務	開始年度		昭和 46 年度		

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 市民が快適に生活できるように、安全かつ安定した汚水処理と一部地域で雨水排除を行う。各浄化センターの汚水処理については、水質調査等を通して水処理工程の現状を把握し、良好な状態を維持する。また、公共下水道に接続する事業場等が、常に排除基準以下の水質で排水するように指導する。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
※成果指標の設定はしない				

【水質指導事業】
 ① 下水道法に基づく特定事業場等の不定期の立入水質検査による下水道排除基準の遵守状況の確認
 ② 排除基準超過事業場への指導
 ③ 下水道法及び明石市下水道条例に基づく特定施設、除害施設等の届出受理、審査及び指導事務を実施
 ④ 下水道法第21条に基づく水質検査として、毎月浄化センターの流入水及び放流水の精密検査並びに評価を実施
 ⑤ 水処理工程の状況把握のため、工程調査、通日調査、統計処理及び評価を実施
 ⑥ その他、必要に応じて各種水質調査及び発生原因の特定や善後策の検討を実施

【浄化センター維持事業】
 ① 汚水処理量 : 晴天日平均 平成30年度実績量(m³)【朝霧】9,258【船上】26,872【大久保】27,517【二見】40,849
 晴天日平均 令和元年度実績量(m³)【朝霧】9,005【船上】25,850【大久保】27,440【二見】40,775
 晴天日平均 令和2年度予定量(m³)【朝霧】9,200【船上】26,000【大久保】27,500【二見】41,000
 ② 汚泥焼却量 : 日平均 平成30年度実績量(kg)【二見】66,100
 日平均 令和元年度実績量(kg)【二見】65,100
 日平均 令和2年度予定量(kg)【二見】66,500
 ③ 点検業務 : 日常点検(毎日)、計装設備点検(年一回)、消防設備点検(年二回)、受変電直流自家発点検(年一回)
 ④ 運転管理 : 豊かな海づくりのための栄養塩管理運転の実施
 ⑤ マニュアル類 : 危機管理マニュアルに沿った大雨対応訓練の実施(年一回)
 ⑥ その他 : 【朝霧】開放施設(会議棟、多目的広場)を設け地元に開放
 【大久保】開放施設(せせらぎ水路、グラウンド、会議棟、テニスコート)を設け地元に開放

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	1,371,651	209,562	1,581,213	0	0	1,310,042	271,171				
01当初予算	1,597,140	208,680	1,805,820	0	0	1,558,004	247,816	正規	20.00	ｱｶﾊﾞｲ	0.00
01決算	1,394,532	209,352	1,603,884	0	0	1,363,611	240,273	再任用	7.00	その他	2.00
02当初予算	1,665,840	218,890	1,884,730	0	0	1,608,930	275,800	任期付	2.00	合計	31.00

区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	令和2年度当初予算事業費明細	令和2年度当初予算事業費明細	令和2年度当初予算事業費明細	令和2年度当初予算事業費明細	令和2年度当初予算事業費明細	令和2年度当初予算事業費明細
委託料	包括運転管理業務委託ほか	623,615		委託料	包括運転管理業務委託ほか	629,271			
動力費	終末処理場施設の動力費	414,207		動力費	終末処理場施設の動力費	561,875			
修繕費	終末処理場施設修繕	324,482		修繕費	終末処理場施設修繕	440,239			
備用品費	機械器具消耗品ほか	10,137		備用品費	機械器具消耗品ほか	10,570			
手数料	クリーンセンター搬入手数料ほか	9,084		手数料	クリーンセンター搬入手数料ほか	9,767			
その他	光熱水費ほか	13,007		その他	光熱水費ほか	14,118			
合計		1,394,532		合計		1,665,840			

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-003	事務事業名	処理場費		
------	-----------	-------	------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>各浄化センターの水質に関する検査や調査業務については、将来性や社会情勢を常に考慮し、民間委託を含めた効率的な手法を推進する。また、下水道法に基づく特定事業場等への規制業務は、下水処理場で処理が不可能な物質の流入を防止する上で重要であり、継続して実施する。</p> <p>各浄化センターの維持管理事業については、厳しい財政状況の下、施設の老朽化が進むものの余裕を持った改築更新は難しく、施設の長寿命化を図り、耐用年数を超える使用も必要となる中で、日常の点検やメンテナンス業務委託等により、十分な機能を発揮できる状態に維持していく。また、近年、全国各地で浸水被害が発生しているゲリラ豪雨への対応にも留意する。</p> <p>市民の快適な暮らしに欠かせない下水道を持続的、安定的に提供するため、今後も維持管理の最適化に取り組んでいく。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	水洗普及費	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 004			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容					
	款	下水道事業費用						
	項	営業費用						
	目	水洗普及費						
	事業							
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	都市局下水道室下水道総務課				
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)934-9624				
個別計画	明石市公共下水道事業計画		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度		
			根拠法令・要綱等	下水道法、明石市下水道条例、明石市水洗便所改造資金等助成規則、明石市水洗便所改造資金等貸付条例、明石市下水道排水設備指定工事店規則				
実施方法			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 市民の生活環境の改善により、快適な住環境を実現するため、100%の水洗化を目指す。公共下水道の供用開始から3年以内に、くみ取り便所や浄化槽を廃止し公共下水道に接続しようとする者に対する助成金の交付、及び当該改造工事を行う者のうち資金を必要とする者に対する貸付を行うことで、水洗化の促進を図り快適な住環境整備をめざす。

事業の目的・目標	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	水洗化率	水洗化人口/供用開始区域内人口 × 100	令和6年度	%	99

【下水道の切替工事】
 ① 供用開始区域内の未水洗家屋に対する下水道切替のPR、勧奨を行う。
 ② 排水設備の新設等における計画の確認・検査を行う。
 ③ 下水道本管新設工事時に、取付管設置位置の確認を行う。
 ④ 私道における公共下水道の布設制度のPRを行う。

【貸付金・助成金事務事業】
 ① 水洗便所助成金交付・水洗便所改造資金貸付申請に基づき、審査及び決定に関する事務を行う。
 ② 水洗便所助成金・水洗便所改造資金貸付金の交付事務を行う。
 ③ 水洗便所改造資金貸付金償還金の収納事務を行う。
 ④ 水洗便所改造資金貸付金償還金の滞納整理業務を行う。
 ⑤ 生活保護世帯水洗便所改造に関する補助手続業務を行う。
 ⑥ 排水設備申請に伴う助成金・貸付金に関する事項について、関係各課との連絡調整を行う。
 ⑦ 共同排水設備申請に関する審査及び助成金交付事務を行う。

【排水設備指定工事店等】
 ① 指定工事店の指定、更新等を行う。
 ② 責任技術者の登録、更新等を行う。
 ③ 指定工事店及び排水設備責任技術者の指導を行う。

SDGs (17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置 (人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算	1,190	36,105	37,295	0	0	18,648	18,647	正規	2.00	7人 ¹ 1人 ²	0.00				
01当初予算	3,517	37,000	40,517	0	0	21,896	18,621								
01決算	776	38,121	38,897	0	0	19,449	19,448					再任用	1.00	その他	5.00
02当初予算	3,235	36,720	39,955	0	0	20,255	19,700					任期付	1.00	合計	9.00

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	年末年始緊急対応業務ほか	182		助成金	水洗便所改造資金等助成金	1,500
賃借料	水洗普及コピー機	172	委託料	既設管状況調査委託ほか	817		
備用品費	事務用消耗品ほか	128	備用品費	事務用消耗品ほか	503		
燃料費	水洗普及ガソリン等の購入	90	印刷製本費	水洗普及その他印刷製本費	113		
被服費	作業服の購入	64	燃料費	水洗普及ガソリン等の購入	91		
その他	助成金ほか	140	その他	被服費ほか	211		
合計			776	合計			3,235

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-004	事務事業名	水洗普及費		
------	-----------	-------	-------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	水洗化率	水洗化人口/供用開始区域内人口×100			98.6	98.5	98.6
		令和6年度	%	99			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>公共下水道(汚水)の普及率は、令和元年度末で99.6%に達しており、市民に浸透している状況にある。一方で、未水洗家屋は年々減少するものの、経済的事情など当面水洗化の実現が困難な建物の割合が増えており、更なる水洗化の向上は容易ではない状況にある。費用対効果の観点においては、新規事業に対する投資効果は低くなるが、市民の生活環境の向上を念頭に、水洗化の優先度を区別しながら効果的に促進を図っていく。</p> <p>あわせて、未水洗家屋の水洗化促進に資するため、及び過去に本制度を利用した市民との公平性を維持するために、水洗便所改造資金等の貸付及び助成を現行のまま継続する。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	業務費	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 005				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容						
	款	下水道事業費用		事業所管課	都市局下水道室下水道総務課				
	項	営業費用			連絡先	(078)934-9621			
	目	業務費				自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 47 年度
	事業								
施策分野		5 都市基盤整備分野	根拠法令・要綱等				都市計画法、下水道法、明石市下水道条例、東播都市計画事業明石市下水道事業受益者負担に関する条例		
		5-6 下水道の整備							
個別計画		明石市公共下水道事業計画	実施方法	直営	○		補助・助成	その他	
				委託	○	指定管理			

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 明石市内の公共下水道を利用する者から使用料を徴収して下水道事業における財源を確保し、健全な経営をめざす。
 下水道を整備する区域内の土地所有者又は土地に対する権利者から、公共下水道の整備費用の一部を土地の面積に応じて負担していただき、下水道整備の促進を図る。

成果指標				
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
下水道使用料収納率	下水道使用料の現年度賦課調定額と滞納繰越額のうち の収納のあったものの比率	毎年度	%	90
受益者負担金収納率	受益者負担金の現年度賦課調定額と滞納繰越額のうち の収納のあったものの比率	毎年度	%	90

【下水道使用料】
 ①公共下水道管に接続し、新たに下水道を利用する者に対して、下水道使用料を賦課する。
 ②公共下水道を使用する者から下水道使用料を賦課・調定・収納する。
 ③排除污水（井戸水・工業用水等）の使用調査及び排除汚水量の認定、収納を行う。
 ④排除污水認定事業所等を立ち入り検査し、配管設備・メータ確認を行い、申告等について説明・指導を行う。
 ⑤下水道使用料の重複支払等における過誤納金の還付、充当処理を行う。
 ⑥下水道使用料の減免対象者（独居老人、災害等による被災者等）の調査・認定を行う。
 ⑦下水道使用料の滞納について徴収及び整理を行う。
 ⑧財政計画の執行状況の調査・分析を行う。
 ⑨水道局との協定書により業務委託（検針・収納・コンピュータシステム処理業務等）を実施する。
 <収納率>平成30年度（実績）：90.4%（現年、繰越）、令和元年度（実績）：90.1%（現年、繰越）、令和2年度（見込）：90.0%（現年、繰越）

【受益者負担金】
 ①新規下水道管布設工事計画について地元説明会等を行い、受益者負担金の賦課・調定・収納事務を行う。
 ②下水道管布設計画に伴う受益者及び受益地の認定を行う。
 ③賦課した受益者負担金の請求・督促・催告・収納事務を行う。
 ④滞納者宅を訪問し、納付指導及び徴収業務を行う。
 ⑤受益者負担金の減免・徴収猶予申請についての調査等事務処理
 ⑥受益者負担金の猶予地解除に伴う賦課台帳更正及び調定・請求等事務処理
 ⑦電算処理入力データ送付・データ打ち出し等に伴う変更等処理依頼
 ⑧法務局への調査、資産税課との連絡調整
 <収納率>平成30年度（実績）：93.5%（現年、繰越）、令和元年度（実績）：97.0%（現年、繰越）、令和2年度（見込）：94.0%（現年、繰越）

SDGs (17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	150,864	35,956	186,820	0	0	150,925	35,895				
01当初予算	155,592	38,520	194,112	0	0	159,679	34,433	正規	3.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
01決算	153,192	29,169	182,361	0	0	145,449	36,912	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	158,759	28,070	186,829	0	0	150,329	36,500	任期付	2.00	合計	5.00

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	負担金	下水道使用料徴収事務負担金ほか	150,019		負担金	下水道使用料徴収事務負担金ほか	152,962
貸倒引当金繰入額	貸倒引当金として計上するための繰入額	2,226	貸倒引当金繰入額	貸倒引当金として計上するための繰入額	4,000		
印刷製本費	受益者負担金納入通知書等帳票印刷ほか	431	報償費	受益者負担金一括納付報奨金	1,100		
報償費	受益者負担金一括納付報奨金	397	印刷製本費	受益者負担金納入通知書等帳票印刷ほか	470		
備用品費	調定事務用消耗品ほか	45	備用品費	調定事務用消耗品ほか	88		
その他	旅費ほか	74	その他	旅費ほか	139		
合計			153,192	合計			158,759

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-005	事務事業名	業務費
------	-----------	-------	-----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	下水道使用料収納率	下水道使用料の現年度賦課調定額と滞納繰越額のうちの収納のあったものの比率			90.4	90.1	90.0
		毎年度	%	90			
	受益者負担金収納率	受益者負担金の現年度賦課調定額と滞納繰越額のうちの収納のあったものの比率			93.5	97.0	94.0
		毎年度	%	90			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>【下水道使用料】 下水道使用料徴収事業は、下水道事業の根幹をなす収益事業である。 下水道使用料は、水道料金と一括での民間業者への委託による徴収を行っているため、徴収の効率化が図られ収納率は高水準で維持されている。 本事業は、下水道事業を行う上で中心的な財源となっているものであるが、近年の節水意識の向上や節水機器の普及により、今後の排水量は減少していくものと見込まれ、今年度に至っては新型コロナウイルス感染症の影響で事業活動の縮小による排水量の減少も見込まれるところである。今後も健全な経営を持続するため、滞納整理の強化に努めることにより安定的な収納を実現していく。</p> <p>【受益者負担金】 下水道普及率が99.6%に達しており、今後、負担金の新規賦課額は減少していくと思われるが、その中でも滞納の発生を防ぐために、下水道室各課との連携を密にし、対象者に対し十分な説明を行う等積極的に対応していく。 また、徴収猶予を行っている土地(令和2年3月31日現在猶予額245,721,514円(前年同期比△11,148,552円))について、農地転用や転売などによる猶予解除対象地の収納を確実にを行うため、今後も情報収集や現況調査を徹底していく。 下水道整備の財源の一部となる重要な事業であるため、現行のまま継続して取り組む。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	総係費	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 006		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費用					
	項	営業費用					
	目	総係費					
	事業						
施策分野	5 都市基盤整備分野		事業所管課	都市局下水道室下水道総務課			
	5-6 下水道の整備		連絡先	(078)934-9620			
個別計画	明石市公共下水道事業計画		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度	
			根拠法令・要綱等	下水道法、明石市下水道条例、明石市公共下水道運営審議会規則、労働安全衛生法、労働安全衛生法施行令、明石市職員安全衛生規則			
実施方法			直営	○	補助・助成	その他	
			委託		指定管理		

目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）
 経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図り、長期的に安定した下水道事業運営を行う。
 市民が下水道のしくみや必要性を理解し、下水道を正しく使用する。
 安全衛生活動により、公務災害の防止と職員の心と体の健康を保つ。

成果指標					
指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値	
経常収支比率	料金収入等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標 $\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	毎年度	%	100	

- 事業内容**
- ①下水道事業の予算決算及び出納事務
 - ②国庫補助金及び地方債などの投資財源の確保
 - ③下水道事業に携わる職員の資質向上を目的とした各種講習会、研修会への下水道室職員の派遣
 - ④下水道事業の推進や下水道関係団体の支援等を行っている日本下水道事業団、日本下水道協会及び下水道研究会議への加入、総会、理事会、研究会等への参加
 - ⑤下水道室広報委員会の開催、下水道事業の市民へのPR方法の検討、実施
 【内容】平成30年度 広報委員会開催(10回)、下水道週間作品展応募数84点、小学生対象施設見学11校、夏休み親子見学会1回、マンホールカード配布7,129枚
 令和元年度 広報委員会開催(10回)、下水道週間作品展応募数76点、小学生対象施設見学10校、夏休み親子見学会1回、マンホールカード配布約5,928枚
 令和2年度 新型コロナウイルス感染対策のため広報委員会の活動は休止
 マンホールカード配布4,000枚(予定)
 - ⑥下水道室事業場安全衛生委員会、職員健康診断等の実施
 【内容】平成30年度 安全衛生委員会開催(12回)、産業医職場巡視実施(2回)、熱中症防止対策講習会参加(22人)、避難体験研修参加(15人)、下水道室内事故発生数(0件)、定期職員健康診断(7月)
 令和元年度 安全衛生委員会開催(12回)、産業医職場巡視実施(2回)、心と身体の健康に関する講習会参加(11人)、定期職員健康診断(7月)
 令和2年度 安全衛生委員会、産業医職場巡視、職員健康診断の実施

SDGs(17の目標)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算	9,722	117,203	126,925	0	0	102,296	24,629	正規	8.00	7人 ¹ 1人 ²	0.00				
01当初予算	15,160	138,470	153,630	0	0	126,147	27,483								
01決算	11,571	113,872	125,443	0	0	103,486	21,957					再任用	1.00	その他	0.00
02当初予算	27,872	132,400	160,272	0	0	132,872	27,400					任期付	3.00	合計	12.00

令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
	負担金	ネットワーク端末貸与負担金ほか	4,349		委託料	公営企業会計システム構築業務委託ほか	18,215
委託料	公営企業会計システム保守業務委託ほか	2,055	負担金	ネットワーク端末貸与負担金ほか	3,369		
備用品費	事務用消耗品ほか	1,219	厚生福利費	互助会負担金ほか	1,098		
会費負担金	日本下水道協会会費ほか	955	会費負担金	日本下水道協会会費ほか	956		
厚生福利費	互助会負担金ほか	761	備用品費	事務用消耗品ほか	883		
その他	燃料費ほか	2,232	その他	燃料費ほか	3,351		
合計			11,571	合計			27,872

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-006	事務事業名	総係費
------	-----------	-------	-----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	経常収支比率	料金収入等の収益で、維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標 $経常収益 / 経常費用 \times 100$			114.1	113.8	107.9
		毎年度	%	100			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>公営企業については、保有する資産の老朽化に伴う大量更新期の到来や人口減少等に伴う使用料収入の減少等により、経営環境は厳しさを増しており、不断の経営健全化の取組が求められる。下水道事業は住民の日常生活に欠くことのできない重要なサービスを提供する役割を果たしており、将来にわたりサービスの提供を安定的に継続するため、平成30年度に策定した「明石市公共下水道事業長期収支見通し」により、中長期的な経営を行う。</p> <p>水循環における「下水道」の役割への関心と理解を深めるため、引き続き小学生を対象とした施設見学の実施等、PRを行う方針ではあるが、今年度は新型コロナウイルスの感染対策のため休止とする。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-007	事務事業名	減価償却費		
------	-----------	-------	-------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>今後更新される固定資産に係る減価償却費は増加するが、過去に建設された資産に係る減価償却費が減少することにより、全体では微減の見込である。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		資産減耗費	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 008										
			分割/統合													
関連 予算 科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/ 統合の内容													
	款	下水道事業費用	事業所管課	都市局下水道室下水道総務課												
	項	営業費用	連絡先	(078)934-9620												
	目	資産減耗費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 28 年度										
	事業		根拠法令 ・要綱等	地方公営企業法施行規則												
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他									
		5-6 下水道の整備		委託		指定管理										
個別計画		明石市公共下水道事業計画														
事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	固定資産除却を行い適正な資産の管理を行う。															
	成果指標															
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値									
	※成果指標の設定は しない															
事業 内容	固定資産除却費: 固定資産の廃棄・撤去処分により発生する除却費(未償却額及び残存価額)の費用計上															
			平成30年度決算	167,314,766円												
		令和元年度決算	57,107,004円													
		令和2年度予算	150,000,000円													
SDGs(17の目標)																
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
					○					○			○			
事業のコスト (単位:千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		167,315	0	167,315	0	0	167,315	0								
01当初予算		150,000	0	150,000	0	0	150,000	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
01決算		57,107	0	57,107	0	0	57,107	0	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		150,000	0	150,000	0	0	150,000	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和元 年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和2 年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額							
	固定資産除却 費	固定資産の除却損		57,107		固定資産除却 費	固定資産の除却損		150,000							
合計				57,107	合計				150,000							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-008	事務事業名	資産減耗費
------	-----------	-------	-------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
事業を行う上で不要となった固定資産を廃棄処分することなどにより固定資産の管理を行う。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	支払利息及び企業債取扱諸費	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 009		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費用	事業所管課	都市局下水道室下水道総務課			
	項	営業外費用	連絡先	(078)934-9620			
	目	支払利息及び企業債取扱諸費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度	
	事業		根拠法令・要綱等	地方公営企業法施行規則			
施策分野	5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
	5-6 下水道の整備			委託		指定管理	
個別計画	明石市公共下水道事業計画						

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	後年度負担の必要性などを鑑み、建設改良費を精査することによって借入額を抑制し、費用の逡減を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	※成果指標の設定はしない				

事業内容	企業債利息：起債借入先に対して、半年毎に償還表に基づき、利子の償還を行う。				
		平成30年度決算	1,021,038,368円		
		令和元年度決算	926,249,195円		
		令和2年度予算	841,996,000円		
	借入金支払利息：運転資金が不足し、一時借入金の借入を行った場合、約定に基づき利子の支払いを行う。				
		平成30年度決算	0円		
		令和元年度決算	0円		
		令和2年度予算	5,800,000円		

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	1,021,038	0	1,021,038	0	0	521,064	499,974	正規	0.00	ｱｲﾊﾞｲﾄ	0.00
01当初予算	958,900	0	958,900	0	0	466,908	491,992	再任用	0.00	その他	0.00
01決算	926,249	0	926,249	0	0	464,090	462,159	任期付	0.00	合計	0.00
02当初予算	847,796	0	847,796	0	0	426,696	421,100				

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	企業債利息	企業債支払利息	926,249		企業債利息	企業債支払利息	841,996
					借入金利息	借入金支払利息	5,800
	合計		926,249		合計		847,796

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-009	事務事業名	支払利息及び企業債取扱諸費		
------	-----------	-------	---------------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
支払利息については企業債の償還により減少の見込みである。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名 消費税及び地方消費税		新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 010											
		分割/統合														
関連予算科目	会計	下水道事業会計		事業の分割/統合の内容												
	款	下水道事業費用		事業所管課	都市局下水道室下水道総務課											
	項	営業外費用		連絡先	(078)934-9620											
	目	消費税及び地方消費税、長期前払消費税償却		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 元 年度									
	事業			根拠法令・要綱等	消費税法、消費税法施行令、消費税法施行規則等											
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法		直営	○	補助・助成			その他					
個別計画		明石市公共下水道事業計画		委託				指定管理								
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	消費税及び地方消費税を適正に納税する。また、資産に係る控除対象外消費税額の償却を行う。															
	成果指標															
	指標名	考え方・定義・式					目標年次	単位	目標値							
※成果指標の設定はしない																
事業内容	消費税及び地方消費税		平成30年度決算	214,293,300円												
			令和元年度決算	217,403,300円												
			令和2年度予算	250,000,000円												
	長期前払消費税償却		平成30年度決算	6,573,394円												
		令和元年度決算	9,645,865円													
		令和2年度予算	12,500,000円													
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			
事業のコスト（単位：千円）		事業費	人件費（参考値）	総事業費（参考値）	財源内訳				令和2年度 人員配置（人）							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		220,866	0	220,866	0	0	220,866	0								
01当初予算		210,000	0	210,000	0	0	210,000	0	正規	0.00	ｱｲﾊﾞｲﾄ	0.00				
01決算		227,049	0	227,049	0	0	227,049	0	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		262,500	0	262,500	0	0	262,500	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和元年度決算事業費明細	区分（節）	内容		金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容		金額							
	消費税及び地方消費税	下水道事業に係る消費税及び地方消費税		217,403		消費税及び地方消費税	下水道事業に係る消費税及び地方消費税		250,000							
	長期前払消費税償却	資産に係る控除対象外消費税額の償却額		9,646		長期前払消費税償却	資産に係る控除対象外消費税額の償却額		12,500							
合計				227,049	合計				262,500							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-010	事務事業名	消費税及び地方消費税
------	-----------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
地方公営企業法及び消費税法等の法令に基づき適正な会計処理と納税を行う。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		雑支出	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 011											
			分割/統合														
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容														
	款	下水道事業費用	事業所管課	都市局下水道室下水道総務課													
	項	営業外費用	連絡先	(078)934-9620													
	目	雑支出	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 28 年度											
	事業		根拠法令・要綱等	消費税法、消費税法施行令、消費税法施行規則等													
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他										
		5-6 下水道の整備		委託		指定管理											
個別計画		明石市公共下水道事業計画															
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）																
	資本的収入・支出に係る消費税調整額を計上する。																
	成果指標																
	指標名	考え方・定義・式			目標年次	単位	目標値										
	※成果指標の設定はしない																
事業内容	控除対象外消費税：非課税売上げに対応する資本的支出等の課税仕入に係る控除できない消費税及び地方消費税額																
		平成30年度決算	5,104,844円														
		令和元年度決算	450,232円														
		令和2年度予算	250,000円														
SDGs(17の目標)																	
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
						○					○			○			
事業のコスト (単位：千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)								
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源									
30決算		5,105	0	5,105	0	0	5,105	0									
01当初予算		200	0	200	0	0	200	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00					
01決算		450	0	450	0	0	450	0	再任用	0.00	その他	0.00					
02当初予算		250	0	250	0	0	250	0	任期付	0.00	合計	0.00					
令和元年度 決算事業費 明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度 当初予算 事業費 明細	区分(節)	内容		金額								
	その他雑支出	控除対象外消費税		450		その他雑支出	控除対象外消費税		250								
合計				450	合計				250								

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-011	事務事業名	雑支出		
------	-----------	-------	-----	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
地方公営企業法及び消費税法等の法令に基づき適正な会計処理と納税を行う。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	過年度損益修正損	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 012		
		分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容				
	款	下水道事業費用					
	項	特別損失	事業所管課	都市局下水道室下水道総務課			
	目	過年度損益修正損	連絡先	(078)934-9621			
	事業		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 28 年度	
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令 ・要綱等	下水道法、明石市下水道条例 地方公営企業法施行規則			
	5-6 下水道の整備			実施方法	直営	○	補助・助成
個別計画	明石市公共下水道事業計画		委託			指定管理	

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	当年度の経常的費用から除外すべき費用として前年度以前の損益の修正を行い、適正な特別損失を計上する。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	※成果指標の設定はしない				

事業内容	過年度損益修正損	
	<過年度下水道使用料の減額更正等> 平成30年度決算 3,467,733円 令和元年度決算 5,270,412円 令和2年度予算 5,200,000円	
	<過年度除却資産に係る減耗分> 平成30年度決算 553,447,752円	
	<過年度取得資産に係る減価償却分> 令和元年度決算 22,773,813円	

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
30決算	556,915	0	556,915	0	0	556,915	0	正規	0.00	7人 ¹ 代	0.00		
01当初予算	5,200	0	5,200	0	0	5,200	0		再任用		0.00	その他	0.00
01決算	28,044	0	28,044	0	0	28,044	0		任期付		0.00	合計	0.00
02当初予算	5,200	0	5,200	0	0	5,200	0						

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	過年度損益修正損	下水道使用料の過年度収納分の還付・固定資産の減価償却	28,044		過年度損益修正損	下水道使用料の過年度収納分の還付	5,200
	合計				28,044	合計	

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-012	事務事業名	過年度損益修正損		
------	-----------	-------	----------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>過年度分の過誤による下水道使用料及び除却資産等を当年度の経常的な損益計算に算入することなく特別な費用に区分し適正な経理を行う。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		予備費(損益勘定)	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 013		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	下水道事業費用	事業所管課	都市局下水道室下水道総務課				
	項	予備費	連絡先	(078)934-9620				
	目	予備費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 28 年度		
	事業		根拠法令 ・要綱等	地方公営企業法施行令				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画								

事業の 目的・ 目標	目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか)				
	予定外の収益的支出及び予算を超過した収益的支出に対し、準備しておく。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	※成果指標の設定は しない				

事業 内容	予備費	平成30年度決算	0円
		令和元年度決算	0円
		令和2年度予算	5,000,000円

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	0	0	0	0	0	0	0				
01当初予算	5,000	0	5,000	0	0	5,000	0	正規	0.00	ｱｲﾊﾞｲﾄ	0.00
01決算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	5,000	0	5,000	0	0	5,000	0	任期付	0.00	合計	0.00

令和元 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	令和2 年度 当 初 予 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容	金額	
						予備費	収益的収支予算の予定外経費	5,000
		合計			0		合計	5,000

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-013	事務事業名	予備費(損益勘定)		
------	-----------	-------	-----------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
引き続き、必要に応じて適正に実施していく。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名	管渠整備費	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 014			
		分割/統合						
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容					
	款	資本的支出		事業所管課	都市局下水道室下水道総務課、下水道整備課			
	項	建設改良費			連絡先	(078)934-9628		
	目	管渠整備費		自治/法定		自治事務	開始年度	昭和 34 年度
	事業							
施策分野	5 都市基盤整備分野		根拠法令・要綱等	都市計画法、下水道法				
	5-6 下水道の整備			実施方法	直営	○	補助・助成	その他
個別計画	明石市公共下水道事業計画		委託			指定管理		

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	明石市公共下水道事業計画に位置付けられた下水道管路施設の新規整備や老朽化施設の改築更新を行い、生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水被害の軽減を図る。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
下水道処理人口普及率	行政人口に対する処理区域内人口の割合	令和6年度	%	99.7	
都市浸水対策達成率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合	令和6年度	%	49.9	

事業内容	①汚水未普及地区での面整備、水洗化の実施 平成30年度（工事）清水塚ノ脇污水管布設工事ほか 令和元年度（工事）大久保駅前区画関連污水管布設工事ほか 令和2年度（工事）大久保駅前区画関連污水管布設工事（予定） （委託）松陰新田ほか污水管基本設計委託（予定）				
	②浸水対策事業の実施 平成30年度（工事）山下町雨水管布設工事ほか 令和元年度（工事）山下町（2工区）雨水管布設工事ほか （委託）明石駅前周辺地区雨水管（その6）実施設計委託 令和2年度（工事）山下町（3工区）雨水管布設工事（予定） 谷八木第1号雨水幹線布設工事（予定）				
	③管渠更生事業の実施 平成30年度（工事）桜町（5工区）管渠工事ほか 令和元年度（工事）桜町（6工区）管渠工事ほか 令和2年度（工事）谷八木字溝向イ管渠工事（予定） （工事）岬町（5工区）管渠改築工事（予定） （委託）管渠点検（その2）業務委託（予定）				
	④各戸への新設取付管布設事業の実施 ※令和元年度決算額は前年度からの繰越額266,875千円を含む。				

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
30決算	451,650	27,801	479,451	78,771	306,700	93,980	0	正規	4.00	7人(外)	0.00		
01当初予算	591,242	33,650	624,892	56,000	547,497	21,395	0		再任用		0.00	その他	0.00
01決算	355,733	33,348	389,081	75,570	295,699	17,812	0		任期付		1.00	合計	5.00
02当初予算	572,028	33,580	605,608	39,000	493,500	73,108	0						

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	工事請負費	山下町雨水管布設工事ほか	334,176		工事請負費	山下町(3工区)雨水管布設工事ほか	422,700
	委託料	和坂3丁目ほか雨水・污水管渠改築実施設計委託ほか	14,397		委託料	管渠点検(その2)業務委託ほか	75,811
	補償費	移転補償費(ガス等)	4,941		補償費	移転補償費	70,000
	負担金	積算システム負担金	785		負担金	積算システム負担金	795
	備用品費	書籍購入など	518		備用品費	書籍購入など	655
	その他	賃借料など	916		その他	賃借料など	2,067
	合計				355,733	合計	

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-014	事務事業名	管渠整備費		
------	-----------	-------	-------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	下水道処理人口普及率	行政人口に対する処理区域内人口の割合			99.6	99.6	99.6
		令和6年度	%	99.7			
	都市浸水対策達成率	下水道計画区域面積に対する雨水管整備済み区域の割合			49.5	49.7	49.7
		令和6年度	%	49.9			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>面整備管渠は未水洗化地区の解消をめざし、要望の高い地区より順次整備を行う。 浸水対策事業は浸水地区の被害軽減を目標に、事業実施効果の高いものを優先的に実施する。 下水道ストックマネジメント計画に基づき、計画的に事業を進捗させる。 新規の需要に応じて公共下水道汚水取付管の布設を行う。</p>						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		ポンプ場整備費		新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 015									
				分割/統合												
関連予算科目	会計	下水道事業会計		事業の分割/統合の内容												
	款	資本的支出		事業所管課	都市局下水道室下水道施設課											
	項	建設改良費		連絡先	(078)934-3425											
	目	ポンプ場整備費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 49 年度									
	事業			根拠法令・要綱等	下水道法、環境基本法、水質汚濁防止法、電気事業法等											
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成				その他					
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理									
個別計画		明石市公共下水道事業計画														
事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	各ポンプ場の施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として整備し、良好な状態に保つ。															
	成果指標															
	指標名		考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値							
突発故障による緊急対応工事の件数		突発故障による緊急対応工事の件数				毎年度	件	0								
事業内容	下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成30年度 (工事)西岡ポンプ場負荷設備工事 (工事)朝霧ポンプ場負荷設備工事 (委託)朝霧ポンプ場ほか実施設計委託 ほか 令和元年度 (工事)江井島ポンプ場自家発電設備工事 (工事)朝霧ポンプ場自家発電設備工事 令和2年度 (工事)朝霧浄化センター中央監視制御設備電気工事【朝霧ポンプ場】(予定)															
	※令和元年度決算額42,012千円は全額前年度からの繰越。															
SDGs(17の目標)																
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)
					○					○			○			
事業のコスト(単位:千円)		事業費	人件費(参考値)	総事業費(参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		196,398	0	196,398	88,042	108,300	56	0								
01当初予算		4,060	0	4,060	0	4,000	60	0	正規	0.00	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00				
01決算		42,012	0	42,012	21,006	21,006	0	0	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		90,120	0	90,120	45,000	45,000	120	0	任期付	0.00	合計	0.00				
令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容		金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容		金額							
	工事請負費	西岡ポンプ場負荷設備工事ほか		38,556		工事請負費	朝霧浄化センター中央監視制御設備電気工事(朝霧ポンプ場)		90,000							
	委託料	朝霧ポンプ場ほか実施設計委託		3,456		旅費	立会検査旅費		120							
合計				42,012	合計				90,120							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-015	事務事業名	ポンプ場整備費		
------	-----------	-------	---------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	突発故障による緊急対応工事の件数	突発故障による緊急対応工事の件数			0	1	0
		毎年度	件	0			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
国の交付金を活用し、下水道ストックマネジメント計画に基づき、施設の改築更新を計画的に進め、既存ストックの延命化を図る。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		処理場整備費	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 016		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容					
	款	資本的支出	事業所管課	都市局下水道室下水道施設課				
	項	建設改良費	連絡先	(078)934-3425				
	目	処理場整備費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度		
	事業		根拠法令・要綱等	都市計画法、下水道法、環境基本法、水質汚濁防止法、電気事業法等				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他
		5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画		明石市公共下水道事業計画						

事業の目的・目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）				
	各浄化センターの施設機能を、将来に渡り持続可能な都市基盤として整備し、良好な状態に保つ。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	突発故障による緊急対応工事の件数	突発故障による緊急対応工事の件数	毎年度	件	0

事業内容	① 下水道ストックマネジメント計画に基づき、老朽化した施設の計画的な改築更新を行う。 平成30年度 (工事) 船上浄化センター受変電設備工事 (工事) 船上浄化センター用水設備工事 (工事) 二見浄化センター負荷設備工事 ほか 令和元年度 (工事) 船上浄化センター雨水ポンプ設備工事 (工事) 船上浄化センター反応タンク設備工事 ほか 令和2年度 (工事) 朝霧浄化センター中央監視制御設備電気工事(予定) (工事) 二見浄化センター汚泥濃縮設備工事(予定) (工事) 船上浄化センター給水管布設工事(予定) ほか				
	② 下水道資源の有効利用を進める。				
	③ 浄化センター等の設計、積算、施工管理に要する一般管理事務を行う。				
※令和元年度決算額は前年度からの繰越934,475千円を含む。					

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	931,355	38,474	969,829	443,257	438,400	88,172	0				
01当初予算	699,761	53,270	753,031	308,250	414,503	30,278	0	正規	5.00	ｱｲﾊﾞｲ	0.00
01決算	1,036,966	38,265	1,075,231	476,089	566,566	32,576	0	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	644,715	42,470	687,185	290,500	349,500	47,185	0	任期付	0.00	合計	5.00

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	工事請負費	船上浄化センター雨水ポンプ設備機械工事ほか	994,254		工事請負費	朝霧浄化センター中央監視制御設備電気工事ほか	620,000
	委託料	明石市下水道設備台帳システム移行業務委託ほか	39,463		委託料	大久保浄化センター実施設計委託	20,000
	備用品費	事務用消耗品ほか	1,399		備用品費	事務用消耗品ほか	1,762
	負担金	積算システム負担金	785		負担金	積算システム負担金	795
	旅費	立会検査旅費	378		賃借料	コピー機ほか	600
	その他	賃借料ほか	687		その他	旅費ほか	1,558
	合計				1,036,966	合計	

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-016	事務事業名	処理場整備費		
------	-----------	-------	--------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	突発故障による緊急対応工事の件数	突発故障による緊急対応工事の件数			0	2	0
		毎年度	件	0			
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
国の交付金を活用し、下水道ストックマネジメント計画に基づき、施設の改築更新を計画的に進め、既存ストックの延命化を図る。						

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-017	事務事業名	固定資産購入費
------	-----------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
工具器具及び備品の購入については、施設と同様に老朽化が進み、計画的な更新が必要であるが、厳しい財政状況の中、余裕を持った更新は難しいため、日常の適正な維持管理により、耐用年数を超える使用も行いながら経費の削減に努める。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		企業債償還金		新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 018									
				分割/統合												
関連 予算 科目	会計	下水道事業会計		事業の分割/ 統合の内容												
	款	資本的支出		事業所管課	都市局下水道室下水道総務課											
	項	企業債償還金		連絡先	(078)934-9620											
	目	企業債償還金		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 44 年度									
	事業			根拠法令 ・要綱等	地方公営企業法、地方公営企業法施行令等											
施策分野		5 都市基盤整備分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他								
		5-6 下水道の整備			委託		指定管理									
個別計画		明石市公共下水道事業計画														
事業の 目的・ 目標	目的（誰を・何を、どういう状態にしたいのか）															
	下水道事業の安定的な経営を維持するために必要な資金を確保するとともに、経営基盤を強化するため、企業債残高の減少を図る。															
	成果指標															
	指標名	考え方・定義・式				目標年次	単位	目標値								
※成果指標の設定はしない																
事業 内容	企業債償還額:平成30年度決算 3,814,352,012円															
	令和元年度決算 3,812,925,633円															
	令和2年度予算 3,790,414,000円															
SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			
事業のコスト (単位:千円)		事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)							
					国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源								
30決算		3,814,352	0	3,814,352	0	0	3,216,324	598,028								
01当初予算		3,813,000	0	3,813,000	0	0	3,220,333	592,667	正規	0.00	ｱｲﾊﾞｲ	0.00				
01決算		3,812,926	0	3,812,926	0	0	3,198,203	614,723	再任用	0.00	その他	0.00				
02当初予算		3,790,414	0	3,790,414	0	0	3,429,414	361,000	任期付	0.00	合計	0.00				
令和元 年度 決算 事業 費 明 細	区分(節)	内容		金額	令和2 年度 当 初 予 算 事 業 費 明 細	区分(節)	内容		金額							
	企業債償還金	企業債の償還元金		3,812,926		企業債償還金	企業債の償還元金		3,790,414							
合計				3,812,926	合計				3,790,414							

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-018	事務事業名	企業債償還金		
------	-----------	-------	--------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
今後も約定に基づき、引き続き遅滞のない償還を行う。						

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-019	事務事業名	投資
------	-----------	-------	----

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
下水道普及率が99%を超えた現在、貸付申請件数は減少傾向にあるが、未水洗家屋については水洗化を進めていく必要があり、また、過去に制度を利用した市民との公平性を維持するためにも現行のまま継続する。						

令和2年度 事務事業点検シート

事務事業名		予備費(資本勘定)	新規/継続	継続事業	整理番号	企0165 - 020		
			分割/統合					
関連予算科目	会計	下水道事業会計	事業の分割/統合の内容					
	款	資本的支出	事業所管課	都市局下水道室下水道総務課				
	項	予備費	連絡先	(078)934-9620				
	目	予備費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 28 年度		
	事業		根拠法令・要綱等	地方公営企業法施行令				
施策分野		5 都市基盤整備分野	実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		5-6 下水道の整備		委託		指定管理		
個別計画								

事業の目的・目標	目的(誰を・何を、どういう状態にしたいのか)				
	予定外の資本的支出及び予算を超過した資本的支出に対し、準備しておく。				
	成果指標				
	指標名	考え方・定義・式	目標年次	単位	目標値
	※成果指標の設定はしない				

事業内容	予備費:平成30年度決算 0円	
	令和元年度決算 0円	
	令和2年度予算	5,000,000円

SDGs(17の目標)																
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
					○					○			○			

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				令和2年度 人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
30決算	0	0	0	0	0	0	0				
01当初予算	5,000	0	5,000	0	0	5,000	0	正規	0.00	ｱｲﾊﾞｲﾄ	0.00
01決算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
02当初予算	5,000	0	5,000	0	0	5,000	0	任期付	0.00	合計	0.00

令和元年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	令和2年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
					予備費	資本的収支予算の予定外経費	5,000
	合計		0		合計		5,000

令和2年度 事務事業点検シート

整理番号	企0165-020	事務事業名	予備費(資本勘定)		
------	-----------	-------	-----------	--	--

事業の成果	指標名	考え方・定義・式			30年度	元年度	2年度見込み
		目標年次	単位	目標値			
	※成果指標の設定はしない						
指標で表せない成果							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点に「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
引き続き、必要に応じて適正に実施していく。						